

作業環境測定士試験の概要

《試験概要》

1. 受験申請者数

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
第一種作業環境測定士	1,132人	1,165人	1,087人	1,129人
第二種作業環境測定士	1,865人	1,778人	1,728人	1,694人

2. 試験手数料 ※ 政令に規定されている。

第一種作業環境測定士試験

- ・共通科目＋選択科目1科目 13,900円
- ・共通科目全部免除＋選択科目1科目 10,600円

なお、選択科目が1科目追加されるごとに3,300円増

第二種作業環境測定士試験 11,800円

《試験問題の作成から実施までの過程》

12～3月	試験員(34人)の選定
3月	実施計画策定(21年度の場合)
4～7月	試験問題作成 試験問題作成委員会 延べ23回
4月	官報公示
5～6月	受験申請書受付、資格審査
7月	受験票発送
8月	第1回試験実施・採点(実施は7センター+東京)
10月	結果発表、結果通知
9月	第2回実施計画の策定
10月	官報公示
10～12月	試験問題作成 試験問題作成委員会 延べ10回
11～12月	受験申請書受付、資格審査
1月	受験票発送
2月	第2回試験実施・採点(実施は7センター)
3月	結果発表、結果通知 * 担当人員数 3人

《指定試験制度の趣旨・指定理由》

1. 指定試験制度の趣旨

作業環境測定士制度検討当時、作業環境測定法の制定後は大量の作業環境測定士受験者が想定されたため、試験事務を担当する行政側の事務能力が十分でないことが懸念された。

このため、昭和50年に制定された作業環境測定法で、作業環境測定士資格について定めるとともに、指定試験機関による試験の実施を可能としたものである。

2. 当該法人を試験機関として指定する理由

(財)安全衛生技術試験協会の前身である(財)作業環境測定士試験協会は、作業環境測定士試験の事務について、上記のような懸念があったことから、当該事務を行う法人として昭和51年に設立されたものであるため。

《試験事務の収支状況》

作業環境測定士試験の収支状況

		(千円)			
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
収入		39,008	38,296	36,382	36,659
	手数料	39,008	38,296	36,382	36,659
	補助金	0	0	0	0
支出		77,122	81,338	81,106	78,022
収支		△38,114	△43,042	△44,723	△41,363